



取組概要

超臨場感技術の研究開発による新たな映像体験の実現

社会情勢／社会課題

日本の映像産業は世界でもトップレベルのクオリティで「クールジャパン」の代表として様々な国で支持を集めており、アニメーション、ゲーム、4K/8K映像等をはじめ関連産業全体で発展が見込まれる分野として期待が寄せられている

長期ビジョン

世界を驚かせる日本発の新たな映像技術を創造し、国内関連産業を活性化する

東京大会での役割

大会開催中の観戦者にいつそう大きな驚きと感動を与えるとともに、世界に日本の技術開発力をアピールする

3つの手段

1 ソーシャルインパクト

日本ならではの強みを活かした世界に先駆けた映像技術やコンテンツの発信

2 大会ホスピタリティ

大会中のイベントや観戦時の演出に活用し、より大きな驚きや感動を生む

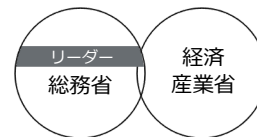
3 シェアードバリュー

競技場における感動や興奮を、時や場所を超えて誰もが味わえるようにする

2020年に向けたコンセプト



Audiovisual Innovation 2020 新・臨場体験映像システム



臨場感あふれる映像技術が生み出す「ワクワク」を、世界中の人と一緒に

実施状況

超臨場感技術の研究開発による新たな映像体験の実現

実施概要

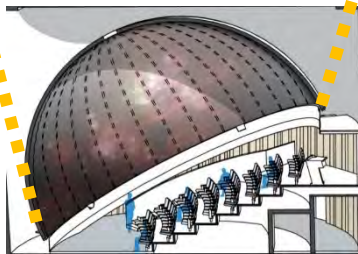
- 東京2020組織委員会の企画提案により、ドーム映像用カメラで撮影した**没入感のある競技映像をライブ配信**、自治体等が整備する計8箇所の**プラネタリウム施設内のドームスクリーン**において**投影された**。合計約970名が観戦。
- バドミントン競技における選手やシャトルのみを、**超臨場感通信技術によりリアルタイムに抽出して**、日本科学未来館内に整備した**実物大のコートにホログラフィックに投影**。

● ドーム映像

上映の様子（日本科学未来館）



写真提供：Panasonic



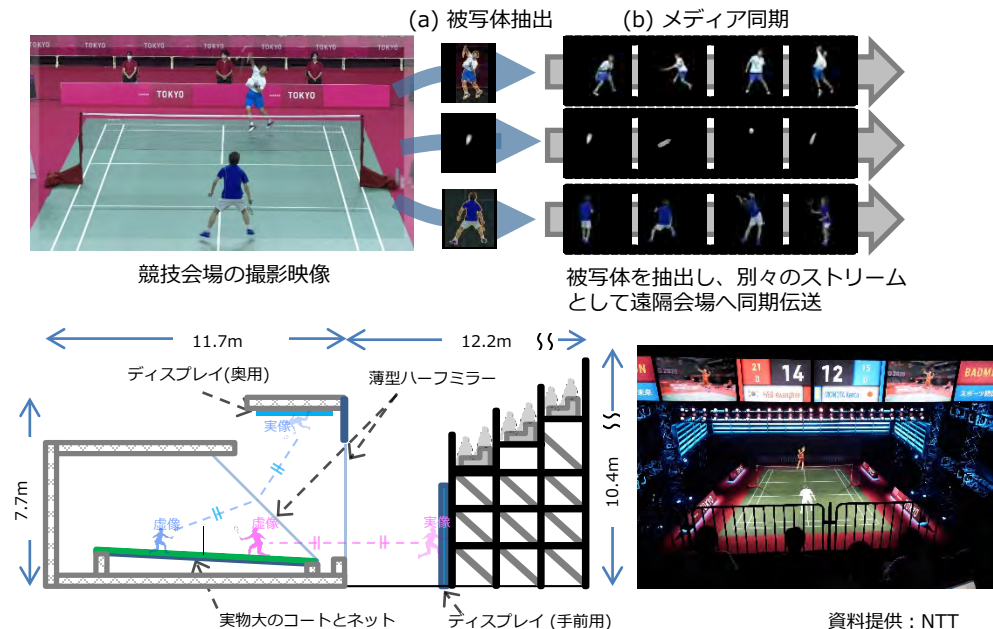
実施自治体（実績）

自治体	上映場所
葛飾区	葛飾区郷土と天文の博物館
府中市	府中市郷土の森博物館
飯田市	飯田市美術博物館
福井市	福井市自然史博物館分館
つくば市	つくばエキスポセンター
福岡市	福岡市科学館
石垣市	いしがき島 星ノ海プラネタリウム
—	日本科学未来館

一般上映	関係者限定
------	-------

● ホログラフィック投影

日本電信電話株式会社が開発した超臨場感通信技術「Kirari!」を活用し、映像から選手やシャトルのみを抽出し伝送。



資料提供：NTT